



【フォーラムの趣旨】

今夏、台風が相次いで上陸し、洪水、強風、高潮などの被害が続出しました。また7月には猛暑日が各地で記録された夏になってしまいました。このような気候の変化とそれに伴う災害は、日本だけでなく全世界的に激しさを増しています。産業革命以降の気温上昇は1℃を超え、気候変動による壊滅的な被害を予防するには一刻の猶予も残されていない状況です。

これに対応するパリ協定は、現実化する取り組みが世界各地で始まりました。また、国連は「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」を全会一致で採択し、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲げました。世界は、まさに脱化石エネルギー時代、持続可能な社会へ向けて大きくかわろうとしています。

これらの世界的な動きは、気候変動、生物多様性などの環境問題をはじめとして、貧困、格差、人権、平和、資源、エネルギー、経済等の諸問題を解決しなければならないという強い決意を示すものといえます。このような課題に取り組まなければならないのは、日本の地域社会も同様であり、地域社会はその変化による社会的影響も大きく受けます。さらに私たちの地域社会には、人口減少、高齢化、雇用の確保、地域の文化や環境の保全など、様々な課題にも取り組む必要があります。

本フォーラムは、このように大きく社会が変わろうとする時代において、環境首都、そして持続可能で豊かな地域社会をめざす自治体首長・職員とNGOメンバー及び研究者が集い、これからを考える場です。セクターを超えて情報共有と建設的な議論を行い、その成果を各地での実践に活かすとともに、活動展開への推進力を創出するために毎年度開催しています。

京都フォーラムは、「持続可能で豊かさのある地域社会づくりを実現するために(仮題)」をテーマに、環境問題への解決と合わせたSDGsの活用、気候変動に対する適応策の構築、パリ協定の実態化等についての議論を深め、持続可能で豊かな地域社会、脱炭素社会の実現に向けての必要な政策を明らかにすることを目的に開催します。

《日程・内容》

1月16日(木) フォーラム全体会(1日目) 13:00~17:00

全体進行 環境首都創造 NGO 全国ネットワーク 代表幹事 杵本 育生
総合司会 NPO 法人環境市民 副代表理事 下村委津子

■市区町村長と環境NGO、専門家によるディスカッション

12:15 開 場

13:00 開 会

1. 開会あいさつ 京都大学 名誉教授 松下 和夫 氏

2. 趣旨説明と課題提起 環境首都創造 NGO 全国ネットワーク代表幹事 杵本育生

3. 市区町村長と環境NGO、専門家によるディスカッション 1

テーマ1 「SDGsを活用した持続可能な地域社会づくりの実践」

<事例発表・ミニ講演>

●「国内外の自治体のSDGsの取り組み」

前 国連環境計画環境法条約局副局長 長井 正治 氏

●「SDGsを活かしたまちづくり ニセコ町の取り組みの進展」

ニセコ町役場企画環境課 課長 山本 契太 氏

●「宇部市はSDGsにどう取り組んだのか」

宇部市総合戦略局 理事 小檜山 大介 氏

●「市民から見た北九州市のSDGsの取り組み」

北九州市ESD協議会 常任コーディネーター 森川 妙 氏

コーディネーター 環境自治体会議環境政策研究所 理事長 小澤 はる奈 氏

※ 講師・発表者は最終調整中で、順不同です。今後、変更等があるかもしれませんのでご承知おきください。

事例発表・ミニレクチャーと参加者によるディスカッションを組み合わせて進行します。
途中15分の休憩をはさみ16時45分まで行います。

16:45

4. 本日の議論・成果のまとめ 総合地球環境学研究所 上級研究員 増原 直樹 氏

17:00 本日のディスカッション終了予定

17:30～18:20

■環境首都創造ネットワーク代表者会議 会場：しんらん交流館大谷ホール

ネットワーク参加団体、専門家の会議です。傍聴可能です

- ・ これまでの経過と残る課題の説明 等

17:20～18:40 移動 懇親会へ

18:40～

■懇親会 会場：京都ガーデンホテル 1階 彩宴

環境首都創造フォーラム参加者全員を対象とした懇親会です

※ 出席任意・要事前申込み

1月17日（金） フォーラム全体会（2日目）9:30～12:30

全体進行 環境首都創造 NGO 全国ネットワーク 代表幹事 杵本 育生

■市区町村長と環境 NGO、専門家によるディスカッション2

テーマ2「気候変動にどのように適応し、かつ気候変動の危機をどう乗り切るのか」

9:00 開 場

9:30 開 会

<事例発表・ミニ講演>

- 「住民とともに 地域を活かす適応策には何が求められるのか」

法政大学社会学部教授 田中 充 氏

- 「相模原市藤野地区の適応策」

NPO 法人 ふじの里山くらぶ 副理事長 野口 正明 氏

- パリ協定の実現、適応策 自治体に求められること

気候ネットワーク 事務局長 田浦 健朗 氏

- 『公共施設からはじめる「地域循環共生圏」づくり』

一般社団法人地域政策デザインオフィス代表理事 田中 信一郎 氏

コーディネーター 総合地球環境学研究所 上級研究員 増原 直樹 氏

※ 事例発表・ミニレクチャーと参加者によるディスカッションを組み合わせで進行します。

12:25

本日の議論・成果のまとめ 京都大学 名誉教授 松下 和夫 氏

12:30 フォーラム 閉会あいさつ くまもと未来ネット 代表理事 原育美 氏

12:30～13:15 会議

環境首都創造ネットワークと環境自治体会議で統合した新組織についての意見交換
会場 しんらん交流館 大谷ホール

13:15～14:15 昼食休憩 ※お弁当は1階 会議室ABCに用意しております。

環境首都創造ネットワーク 共同研修会

会場 しんらん交流館 大谷ホール

14:20～16:20 研修会